

業 務 状 況 説 明 書

(令和5年4月1日～令和5年9月30日)

1 事業の概要

令和5年度上半期の有収水量は808,586m³となり、令和4年度の下半期と比較すると14,854m³増加しました。また、令和4年度の上半期と比較した場合は、6,604m³の増加となりました。

また、令和5年9月30日現在の水洗化人口は18,244人となり、令和5年3月31日現在と比較すると201人増加し、令和4年9月30日現在と比較すると221人増加しました。

2 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出の経理の状況

令和5年度上半期の収益的収入の調定済額は325,161,722円(税込み)となり、予算現額に対する執行率は37.7%です。また、長期前受金戻入を除いた場合の予算現額に対する執行率は、58.1%となります。

令和5年度上半期の収益的支出の支出負担行為済額は137,230,356円(税込み)となり、予算現額に対する執行率は17.7%です。また、減価償却費を除いた場合の予算現額に対する執行率は、41.2%となります。

(2) 資本的収入及び支出の経理の状況

令和5年度上半期の資本的収入の調定済額は6,512,680円(税込み)となり、予算現額に対する執行率は2.6%です。

令和5年度上半期の資本的支出の支出負担行為済額は330,811,655円(税込み)となり、予算現額に対する執行率は62.8%です。

3 令和4年度の決算の状況

令和4年度の下水道事業会計の収益的収支の決算額(税抜き)は、下水道事業収益が776,826,273円、下水道事業費用が692,400,528円、当年度純利益が84,425,745円となり、当年度未処分利益剰余金は219,549,729円となりました。なお、下水道事業収益のうち下水道使用料は、222,693,849円でした。

令和4年度の資本的収支の決算額(税込み)は、資本的収入が225,962,570円、資本的支出が509,519,306円、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は283,556,736円となり、この資本的収入額が資本的支出額に対

して不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額8,791,379円、減債積立金57,722,000円、当年度分損益勘定留保資金115,127,588円及び繰越利益剰余金処分額69,215,769円で補填したほか、なお不足する額32,700,000円（未払相当分）については、令和3年度同意の企業債の未発行分26,400,000円及び令和4年度同意の企業債の未発行分6,300,000円をもって、翌年度に措置することとしました。

(1) 下水道使用料の状況

令和4年度の年間有収水量は1,595,714^mで、令和3年度と比較すると6,335^m増加しました。

また、下水道使用料の収入額は税抜きで222,693,849円、税込みで244,963,230円となり、令和2年度の下水道使用料と比較すると税込みベースで81,700円の減少となりました。

(2) 主な建設改良工事等の状況

・ 汚水枝線整備工事

汚水管きよを1.3km布設し、その結果、汚水管きよの総延長は、民間事業者からの帰属分を合わせて、110.8kmになりました。

・ 大池調整池整備工事

文違地先に設置した大池調整池の整備工事を行い、大池排水区の浸水被害の防止を図りました。

・ マンホールポンプ交換工事

老朽化したマンホールポンプ10基を新品に交換し、施設の長寿命化を図りました。

・ マンホール蓋交換工事

老朽化したマンホール蓋15枚を新品に交換し、施設の長寿命化を図りました。

・ 汚水管きよの点検・調査

令和元年度に策定したストックマネジメント計画に基づき、汚水管きよ3.0kmについて老朽化の点検・調査を行いました。